

## 令和元年度 第1回看護師職能集会報告書

○日時: 令和元年 6月15日(土) 13:30～15:30

○場所: 岡山コンベンションセンター 3階コンベンションホール

○参加者: 308名

○プログラム

13:30 開会挨拶 看護師職能委員会 委員長 安部 小夜子

13:35 講演 『哀しみを得る～深いケアをめざして～』

講師 ノートルダム清心女子大学 人間生活学部 児童学科教授 村中李衣氏

はじめに

こころにふれる、ということ

からだの声に耳を澄ますということ

小児病棟で教わったこと

『はらぺこあおむし』…なんで食べてもくさらないの？

『パパ、お月さまとって』…うその中のほんとの時間

『さわらせて』…あなたがいてくれるから

お年寄りとの読みあいで教わったこと

『ぼちぼちいこか』…ゆっくりじんわりを味わえる日々

さいごに

深いケアは、わりきれなさやあいまいさを切り捨てず、

共に抱え合って進む道に芽吹くのではないか？

15:15 質疑応答

15:25 閉会挨拶 看護師職能委員会 副委員長 金木 こと江

○所感

今年度、第1回目の職能集会は、300名を超える参加者で大変盛況でした。講師に児童文学作家の村中李衣先生をお迎えし、小児病棟で患者、家族を支える立場で体験した事、あるいは患者体験を通して感じたこと、そして患者家族の立場になった時に感じたことなど、ご自身の多種多彩なエピソードを含め絵本と共にご紹介いただきました。

「建物ではなく、心がきれいな病院がいい」「完璧な医療や介護ではなく、深い介護がいい」「吸う息は哀しみであっても、吐く息は感謝でありたい」など宝物のような言葉の一つ一つが私たち聴衆の心を打ち、笑いと涙があふれる講演でした。講演終了時にはとても暖かい空気がホールに流れました。こういうほっこりした空気をみんなで共有できたことを嬉しく感じた集会でした。(看護師職能委員 佐藤記)

